

トピックス

※トピックス記事の中には、議会のホームページで詳しく掲載しているものもありますので、ぜひ、ご覧ください。

13都道府県議会議長会議



11月16日、第225回13都道府県議会議長会議が大阪市で開催され、中尾正幸議長、佐々木徹副議長が出席しました。

同会議は大都市を抱える都道府県に共通する課題に対処することを目的に開かれるもので、今回は、

本県提案の「勤務獣医師の人材確保について」や、「食品ロス削減に向けての取組を進めることについて」など13議案について審議が行われ、国の関係機関に要望することが決定されました。

在福岡大韓民国総領事が県議会を訪問

11月17日、在福岡大韓民国総領事館の金玉彩(キム オクチェ)総領事が、着任挨拶のため、朴起準(パク キジュン)副総領事、趙一中(チョウ イルチュン)専門官とともに、県議会を訪問されました。



中尾正幸議長は、「福岡県議会は2012年5月に慶尚南道議会と友好交流協定を締結しています。友好交流の絆を強固なものにしていくため、これまで以上に日韓友好に力を注いでまいりたいと考えていますので、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます」と挨拶しました。

金総領事は、「皆さまにお会いできて、とてもうれしく思います。これまでは東京の韓国大使館で勤務しており、九州での勤務は初めてとなります。九州と韓国の距離をもっと縮めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます」と挨拶されました。

「九州の自立を考える会」広域行政セミナー



12月1日、本県議会の議員をはじめ、九州各県議会の議員、九州の財界人等を会員とする「九州の自立を考える会」(会長:藏内勇夫議員)の第11回広域行政セミナーが福岡市内で開催されました。

今回のセミナーでは、元NHKのキャスターで、現在は法政大学スポーツ健康学部の教授としてご活躍の山本浩氏から「一人一人の声を聞け～スポーツ界の現代的命題～」と題する講演が行われました。

講師からは「アスリートの成功へのカギは優れたサポートである。特に今は医科学というものが非常に大きなスポットライトを浴びている。おそらくこの医科学をベースに、経験豊かな指導者が、充実したスタッフをコントロールしてアスリートを支えることができれば、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの成果につなげることができると思う」との話がありました。

また、「アスリートが将来に不安を持たずに練習に打ち込めるようになるためには」との質問に対しては「アスリートが引退後に就職困難に陥る理由として、学生時代、十分に勉強に取り組めない点がある。スポーツは今非常に高度化し、多くの時間やエネルギーが必要なので、アスリートは他のことを行う余力がない。そこで、例えば、大学生アスリートの場合、大学の修業期間を4年間から6年間に延長し学習期間の確保を図る。また、小・中・高の学生には、遠征等で学校を休む場合、協会等が家庭教師を付ける、といった支援が考えられるのではないかと。アスリートに対する教育面への支援については、今後、専門の先生も含め検討が必要と思われる」と述べられていました。

「One Health」に関する国際会議



11月10日、11日の2日間、「第2回世界獣医師会—世界医師会「One Health」に関する国際会議」が北九州市で開催され、31か国から600人を超す医師・獣医師の皆さんが参加されました。

10日の開会式では、秋篠宮同妃両殿下のご臨席を賜り、日本獣医師会の藏内勇夫会長(自民党県議団)が「国際会議の開催が、人と動物が安心して共生できる社会の構築につながるよう心から期待しています」と挨拶し、会議では人と動物の共通感染症についての講演およびパネルディスカッションが行われました。また、この国際会議の機会を捉えて、中尾議長は、歓迎の夕食会で参加の皆さんに歓迎の挨拶とともに、本県が誇る食、文化などの魅力を述べ、本県のPRを行いました。12日には、関連イベントとして「2016動物感謝デー in JAPAN」が開催され、1日獣医師体験やホースセラピーなどが行われました。

※「One Health」：人と動物の健康は一体的という考え

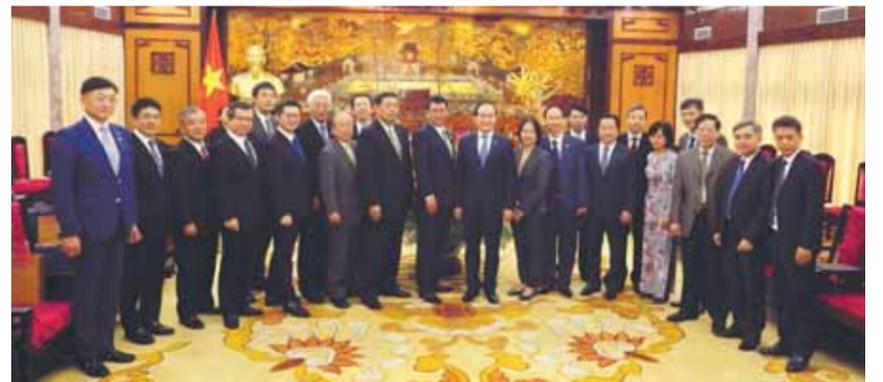
ハノイ市人民評議会友好訪問

福岡県議会と友好交流促進の取決めを締結しているベトナム・ハノイ市人民評議会からの招聘を受け、11月19日から22日まで4日間の日程で、中尾正幸議長を団長に、各会派の代表者、福岡県ベトナム友好議員連盟の議員による友好訪問団が、ハノイ市人民評議会などを訪問しました。

ハノイ市人民委員会ではグエン・ドク・チュン市長と福岡県とハノイ市との環境、経済、観光等の交流について意見交換を行い、ハノイ市人民評議会ではグエン・ゴック・トゥアン副議長と今後の両議会の交流促進のための意見交換を行いました。

中尾議長は、昨年度初めてハノイ市での福岡県内の高校の修学旅行が円滑に実施できたことに対しお礼を述べるとともに「今後とも一層の交流が図られるよう努力していきたい」と述べました。

また、本県が運営している若者文化の発信多言語ウェブサイト「アジアンビート」主催の交流イベントへ参加するなど、大変有意義で充実した訪問となりました。



「まごころ製品」販売会

12月定例会の開会日である12月1日、障害者の皆さんが心を込めてつくった「まごころ製品」販売会が、議会棟1階の玄関ホールで行われました。

この催しは、障害者週間(12月3日～9日)の気運を盛り上げるため毎年開催されているもので、今回は、県内各地域から18施設が出店しました。中尾正幸議長や佐々木徹副議長をはじめ多くの議員が販売ブースを訪れ、お菓子やパン、文具、手芸品、木工品など、さまざまな「まごころ製品」を購入しました。

